

20鹿都発第586号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

秋田県 鹿角市長 児 玉



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付、国道企第37号にて依頼のあった標記の件について、
別紙のとおり提出いたします。

1. 費用対効果の評価指標の再考：

これまでの新規事業採択評価においては、既往の通行量が大きな比重を占めるため、過疎地等では、切捨てになる要因が元々存在し、必然的に都市集中型になる傾向がある。

全国一律ではなく、地方の実情にも配慮し反映できる評価手法、評価項目が必要である。

2. 県境重要地域の設定：

特に、当地域などの過疎地域では、県境付近は山間部であったり、積雪地である事が多く、県境地域の道路網整備が立ち遅れている。当該地域の整備は、県レベルでは力不足であるため、県境重要地域を新たに設けるなどの施策で、国主導で整備に積極的に関与してほしい。

3. 高速交通体系の高度利用：

ETCの普及により高速道路の利便性は大きく向上していると感じる。

利用料金の引下げはもとより、スマートICはその設置箇所数が多いほど近距離利用の増、一般道渋滞時の迂回、緊急輸送の時間短縮等々、累乗的に既設整備路線の利用率向上に寄与すると考えられる事から、設置要件の緩和をしながら、今後とも設置数を増やしてほしい。

②-1 地域の現状と抱える課題

○鹿角市の現状

1. 道路網:

東北縦貫自動車道が南北に縦貫し、2つのインターチェンジ(十和田IC・鹿角八幡平IC)が設置されている。これと並行して国道282号が中心地を縦貫し、東西に走る国道103号とともに主軸となっており、これと縦軸に国道341号や県道が放射状に走る網体系となっている。

2. 道路整備に係わる市道の状況:

改良率52.6%、舗装率57.6%(H20.4.1現在)と県内でも極めて低く、また、国・県道の整備水準は、改良率では県平均を上回ってはいるものの、広大な面積を有するため、その道路延長密度は低い。

3. 自動車交通の現状:

北東北3県の中心という要所と相まって、広域化、活発化しており、自動車交通量調査における平日の24時間交通量をみると、国道282号の花輪地区が最も多く、混雑度が高くなっている。その要因は迂回路が無いことが起因している。

4. 冬期交通:

国道341号に代表されるように、当市八幡平地区のような特別豪雪地帯となっている地域において、冬期の行動圏が制約され、また、道路利用者の安全・安心が阻害されている。

5. 広域交流:

高速道路で盛岡市へ60分超をはじめ、高速交通施設へのアクセスには恵まれているものの、秋田市との所要時間は150分となっており、また、隣県青森県境部分は北奥羽山脈の山岳地形の制限を受けた迂回上の線形となっていることから、広域交通圏の確保は不十分である。

○課題

1. 生活基盤・環境の改善に資する道路交通の整備:

狭い道路や危険箇所の整備を進め、地域間の交通を円滑にして、渋滞の無い都市交通の実現を図るため、交差点の改良やバイパス整備を進める必要がある。また、地域を一体化する道路、中心部交通の円滑化を図る道路整備が急務である。

2. 利用者が安全・安心・快適に利用できる道路整備の推進:

歩道や歩道段差の解消、災害時の代替路線の整備、冬期間の安全な通行を確保して、誰もが安心して利用できるみちづくりを進める必要がある。

3. 地域活力と広域的な交流・連携を高める広域ネットワークの形成:

地域間を結ぶ幹線道路の重点整備を進め、寸断されている同道路の整備を促進し、地域活力を高める広域ネットワークの形成が急務である。

鹿角市が目指す将来像：出逢い賑わい夢をかなえるまち・鹿角

実現にむけた施策【5つの基本目標】

1. 快適とゆとりを育むまちづくり
2. 安らぎとふれあいを育むまちづくり
3. 活力と魅力を育むまちづくり
4. 豊かさとうるおいを育むまちづくり
5. 自立と連携を育むまちづくり

住民の意識・要望

1. 医療環境の確保
2. 雇用の拡大
3. 子育て支援・保育
4. 高齢者支援
5. 道路整備の充実
6. 魅力ある観光地づくり

施策推進の基本理念

『鹿角学』

地域の歴史や文化の
うに築かれた伸びや
かで穏やかな風土を後
世に継承しながら、市民
が常に鹿角らしさを意
識しつつ、産業・福祉・
教育文化活動を通じて
地域の新たな息吹を起
こそうという試み

『共 動』

行政と市民が相互に
良好な関係のもとに、同
じ目線で同じ目標に向
かって動いていこうとす
ること

鹿角を形づくる多様な想い、要請を叶え、支える道路

雇用の拡大

- ・経済交流圏が確保され安定した雇用を生む道路
- ・北東北三県の中心地としての物流・雇用圏の確立
- ・活力ある地域を確立する広域ネットワーク網

子育て支援・保育

- ・保育施設への充実したアクセス道
- ・子供の安全を守る歩道が整備された道路

高齢者支援

- ・安全に利用できる歩道が整備された道路
- ・段差が無い道路

道路整備の充実

- ・渋滞が無い道路
- ・冬期間の円滑な通行の確保
- ・快適かつ安全・安心に通行できる道路

医療環境の確保

- ・命をつなぐ広域救急医療ネットワーク網の形成
- ・緊急時に確実かつ迅速に搬送できる道路

魅力ある観光地づくり

- ・鹿角に根付いた歴史、観光を他地域に広げる道路
- ・広域観光基点として北東北3県を結ぶ道路
- ・観光客を快適にもてなす道路

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・都市交通の快適性、利便性の向上	・国道282号花輪市街地を迂回するバイパス整備 ・県道十二所花輪大湯線(都市計画路線 下タ町線)の整備改良	・市街地における慢性的な混雑解消と都市基盤の再構築	
・地域活力の向上	・国道104号、103号鹿角市大湯～青森県田子町夏坂間バイパスルート建設 ・国道103号 中滝～発荷峠間の拡幅改良 ・国道341号 通年通行の実現 ・国道341号 谷内バイパス以南の整備 ・湯瀬パーキングエリアへのスマートインターチェンジの設置	・地域の活力と自立を支える広域交流ネットワークの形成と経済・物流・雇用圏の大幅な拡大 ・観光周遊路の充実 ・(第3次救急医療網、防災ネットワークの形成) ・国立公園十和田八幡平等の重要な観光資源への快適かつ安全な交通環境確保	・田子町夏坂からトンネル想定ルートまでの町道夏坂大館線は整備済
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化 ・少子・高齢化に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	・国道103号大湯関上地区の道路整備 ・国道103号土深井松山間の歩道設置 ・国道282号毛馬内西町～小坂町万谷間の歩道設置 ・県道雪沢十和田毛馬内線 御山橋の改良 ・県道比内大葛鹿角線 長嶺橋の歩道整備	・道路利用者の安全と安心の確保 ・交通事故の大幅な減少 ・住民生活環境の改善 ・児童保育施設への安全な交通環境 ・年々増加する高齢者の事故防止	